

委員会レポート

経済建設

総務

文教厚生

大津町立学校設置条例の一部を改正する条例
『否決』

Q 分離新設校の児童数は、美咲野団地とそれ以外の地域との割合は、

A 平成25年度の開校時の児童数は、468人を見込んでいる。うち美咲野団地約87%、それ以外の地域約13%である。

Q 公募された校名で多かったのは？

A 80件応募があり、48の校名が寄せられ、「美咲野小学校」が18と最も多くあり、その他にも美咲野という地名を少しアレンジしたようなものも多くあった。

学校は、防災上も避難所にもなるので、その名前でも位置が分かるようであればいけないのではないかと。また、用地を無償提供したJRへの配慮も大切で、学校が出来る美咲野の名前も確立しているし、町民誰もがわかりやすい校名とすることが大切と思う。

A 最初からはなじめないと思うが、周知を図り地域の人たちに愛される学校に育ててもらえるよう配慮したい。

※採決の結果
全員賛成で否決と決した。

一般会計補正

大津町立保育園関係

Q 延長保育について、一日10時間預けるのは、親の遊ぶ時間も含まれてはいないのか。

A その点については、保育園からも保護者に指導していく必要があると思っている。

一般会計補正

Q 東日本大震災の人的支援のために今回派遣された職員の派遣目的は？

A 今回派遣された職員は県市町村合同チーム第10陣の一員として、5月16日から22日までの7日間派遣された。

現地の状況から活動期間をもう少し長くする必要があるということで、現在の派遣期間は12日間に延長されている。

宮城県東松島市では引き続き支援が必要な状態が続いている。当面は続くものと思われる。

「建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりに関する請願」

A 工事積算に使う労務単価は県の統一単価を用いており、労働者の給料だけでなく保険料等も含まれている。大津町の場合、最低賃金を下回る支払いはないと考える。

※採決の結果
継続審議とした。

一般会計補正

Q 大津町観光協会設立準備委託の内容はどのようなものか。

A 組織作りのための活動として、町内企業、関係経済団体等への設立趣旨の説明、啓発・周知、町内団体等への会員誘致のための説明会。会員勧

誘。また観光事業団体や旅館業との連携、観光資源の調査研修として観光拠点地域の設定。観光客のニーズ調査、情報及び資料の収集などである。

観光事業は企業の利益を追求するもので民間を主体とする商工会を考えている。

Q ビジネスホテルは商工会に入っていないが、それでもいいのか。

A 商工会イコール観光協会ではなく、独立した組織として賛同する企業に加入してもらい、また商工会の会員も加入

しているのは水道管だけ埋設しても、結局水道使用がなければ水質が悪化してしまうことだ。一徳さんまでは使われているが、その先を開発するとかの目的や予定がなければ、配管新設はむずかしいのではないかと企業団は心配している。

A 水道企業団が心配しているのか。